



# 3月 園だより

令和7年 3月1日 くるみ保育園

先月は寒波の影響で真冬並みの寒さを感じるような日もあれば、もうすぐ春が来ると感じられるような日もあるなど気温の変化が激しく、お子さんの衣服の調整などにも苦慮されたのではないのでしょうか。

今年度もいよいよ残りわずかとなりました。日々の自然な積み重ねによって、できることも自然と増え、笑顔も増えていった子ども達。できて当たり前、やって当たり前の大人には、できることが増えていくがこんなにも嬉しいものだったのだと、そして、明日を生きる大きな力（意欲）になるのだと子ども達から教えられます。保護者の皆様には、園の活動に数々のご協力とご理解をいただきまして、誠にありがとうございました。



## 3月の予定



- ひなまつり誕生会
- 令和7年度 新入園児保護者説明会
- おわかれウィーク
- アクティブチャイルド（4歳児対象）
- 集金日
- 卒園式リハーサル
- 卒園式（0～4歳児は通常保育）
- 修了式（0～4歳児）
- 春の希望保育



※避難訓練は予告なしで行います  
※園庭開放 3月6日（木）

## アクティブチャイルドプログラムとは

心身共に発達・発育における重要な年代を迎える幼児期の子ども達に対し、身体を動かす楽しさや喜びを伝え、運動習慣や生習慣を改善するきっかけとなる取り組みです。SANEN アンバサダーの方が来園してくれれます。お楽しみに！



## おしらせ

### ○令和7年度入園式

入園式は、新入園児のみで行います。  
在園児は、保護者の方の参加はありません。

### ○3月の集金について

2月同様に3月も調整月となります。いつもの金額と違う場合がありますので、宜しくお願い致します。

入園当初は泣いて親の手を離そうとしなかった子ども達。今では、自分から手を離し、保育士や友だちのところへ嬉しそうに行くようになり…。

成長していく姿をみると、もっと、もっと、と、望んでしまいます。

これからも、目を離さず・手を離さず・心を離さず、子ども達を見守っていきたいですね。



# 育つ力を信じて…

## 育つ力を信じて…

### ケンカの後で…

Cちゃんが持っている玩具を使いたいAちゃん。  
『かして!』、『いや!まだ!』と。次第に、互いに強めの口調に。取られたくない思いから、思わず、言葉と共に手が出てしまったCちゃん。  
びっくりしたのはAちゃんだけではなく、手が出てしまったCちゃんも…。  
傷ができてしまったAちゃんをなんとも言えない表情で見つめるCちゃん。  
保育士は迷いながらも、あえてCちゃんを厳しく問い正すことはせず、待つことに。  
同じテーブルになったおやつ時間。  
Cちゃんが真剣なまなざしで、自分から『ダメなこととしてごめんね。』 Aちゃんも『うん、いいよ。』と、ニッコリ。  
  
『だめなことして』と言ったCちゃんの思い。  
『相手にも譲れない思いがあるのだ』と知ったAちゃん。  
大人に言われて謝る、ではなく、子どもの心から出てきた言葉が何よりも意味を持つのではないのでしょうか。

この1年、その子の中に巻き起こる小さなドラマからクラスの中で巻き起こる大きなドラマまで、様々な経験をしてきた子ども達。

でも、どの瞬間も、  
どのような経験と時間が『今』大事なのかを願いながら寄り添う保育者の存在がありました。

子どもが育つには【時間】がかかります。  
子ども達にとっても【待ってもらう時間】が必要です。

子どもが、自分の感情を感じる時間  
子どもが、自分でその出来事に向き合い、考える時間  
子どもが、自分の気持ちと相手の気持ちを受け止める時間  
子ども自身で、より良いと思う選択ができるまで待ってもらう時間

これからも園は、どの場所もみんなの居場所、  
どの先生（保育士）もみんなに必要な先生（保育士）  
でありたいと思っています。



### 登園時…

母と言いつ争いながら、泣きながら登園してきた子。  
母も気持ちの整理がつかない様子であったが「お願いします」と、足早に仕事に向かっていく。保育士も「わかりました」と、笑顔で送り出した。  
足早に行った母も、きっと、あの状態でおいていくのは…と後ろ髪引かれる思い、仕事に間に合わなくなるという焦りなど、様々な思いが交錯したことでしょう。  
仕事に向かう車の中で、どうすればよかったのか…、もところすればよかった…、あの子は大丈夫か…、などと思いながら出勤したことでしょう

保育士に抱きかかえられ園内に入ったものの、再び座り込み、嗚咽をあげて泣き続けている子。背中をさすりながら、何も言わず、そっと寄り添う保育士の姿。  
しばらく悲しげな声だけが響く時間がしばらく続くも、次第に小さくなり、保育士の手をギュッと握りしめながら自分から身支度をし始めた。

帰りのお迎え時、母の笑顔を見て  
嬉しそうに笑顔で飛び込んでいった。



### 職員室で…

登園時や保育活動中、自分の部屋には行かず『園長せんせい!』と事務室に入ってくる子。保護者や担任保育士は、みんながいる部屋になんとか子どもを保育室へ連れて行こうとあの手この手と声をかける。でも、一向に行こうとしない子。

そのたびに、不安そうにする大人には『大丈夫だよ〜』と、子どもには『少し遊んでから行く?』と優しく声をかけ、その子が納得するまで、そっと見守る園長先生。

そういった子たちが、今では、『園長せんせい!』と顔をのぞかせるものの担任保育士を見つけると、顔をほころばせて『〇〇せんせい!』と嬉しそうに走っていく姿になり、事務所で遊ぶ姿もなくなっていった。

※園だよりの取り扱いにはご注意ください。